

ROU  KEN

## カラコエ(紅弁慶) Kalanchoe

サボテンと同様に多肉植物で水をあまり必要とせず、丈夫で育てやすい植物です。種類はバラエティーに富んでいて、花色も、白、黄色、ピンク、オレンジ等豊富です。日の長さが短くならないと花が咲かない短日植物なので、開花時期は秋から春ですが、この性質を利用して、光が当たる時間を調節すれば一年中花を楽しめます。栄養繁殖能力も高い植物です。

花言葉は、「幸福を告げる」「たくさんの小さな思い出」「あなたを守る」「おおらかな心」等。小さな星形の花が集まって咲くかわいらしい花なので、「たくさんの小さな思い出」は、この姿に由来するとされています。釣鐘状の花を咲かせる種類もあり、幸せを告げるベルの連想から「幸福を告げる」という花言葉もつきました。素敵な花言葉をもつカラコエは、プレゼントにぴったりです。

鮮やかな花色と近年の多肉植物の人気の相まって寄せ植えに使われることも多く、管理も簡単なことからますます人気上昇中の花です。



フランスの探検隊がマダガスカル島で発見、ドイツで品種改良。日本へは昭和初期に渡来し、ベニベンケイの和名で親しまれています。たくましい性質が、弁慶のようだという例えに由来します。

学名の「カラコエ」は、「加藍菜」という同属植物の中国名にちなみます。

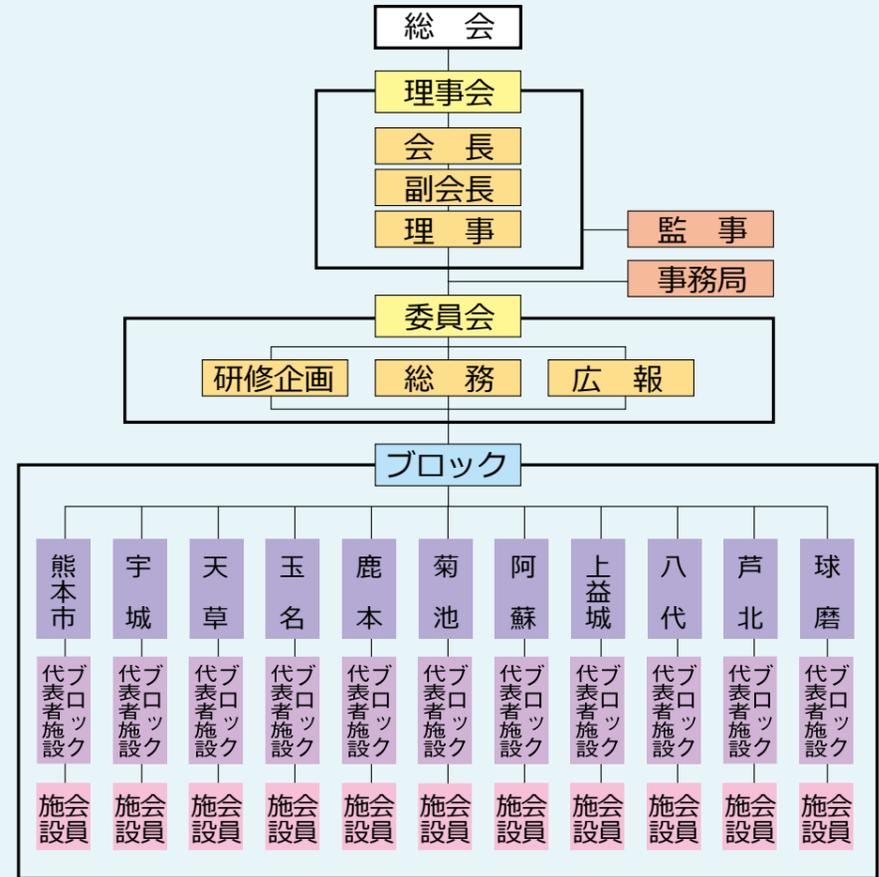
## 一般社団法人 熊本県老人保健施設協会

一般社団法人 熊本県老人保健施設協会

〒868-0041 熊本県人吉市七地町 495 介護老人保健施設リバーサイド御薬園内

TEL 0966-26-3681 FAX 0966-26-3680 E-mail:kmrouken@orange.ocn.ne.jp

一般社団法人熊本県老人保健施設協会組織図



- 総会 年1回、6月に開催する。
- 理事会 通常理事会(年2回の開催、6月、3月)  
臨時理事会(必要に応じて開催する。)
- 委員会 ●総務委員会 理事会の指示のもとに会務全般の庶務を行う。具体的には事業計画の立案、実施状況の把握、老健運営上の課題の整理、県担当部局との調整など。  
●研修企画委員会 年間を通しての研修の企画、講師の選定、研修の運営、研修の評価等。  
●広報委員会 広報誌の発行、ホームページの作成、会員への情報伝達方法の検討。
- 各ブロック 地域振興局単位で意見の集約を図り、老人保健施設の立場から地域の活動に協力していくために、熊本市及び地域振興局単位でブロックを編成する。  
施設間、職種間での意見の交換を行い、課題の整理と活動を行うこととする。

平成30年 人生100年時代を迎えて

一般社団法人熊本県老人保健施設協会 理事 田中素美

早いもので、今年で平成の世も満30年を迎えます。新しい年号の発表も待たれるところですが、様々な意味で今年は節目の年と言えそうです。

第7次の医療計画、第7期の介護保険事業計画がスタートし、6年に一度の診療介護報酬の同時改定が行われました。また、昨年には介護保険法の一部改正を含む地域包括ケア強化法が成立し、老健施設の定義の項で在宅支援が明示されたことは、皆様ご存知の通りです。2025年に向けて地域包括ケアシ

ステム推進を更に強化する年、とも言えます。改めて申し上げるまでもなく、全老健では「老健施設の理念と役割」として5項目を明示しています。①包括的ケアサービス施設 ②リハビリテーション施設 ③在宅復帰施設 ④在宅生活支援施設 ⑤地域に根ざした施設です。当初からこの理念を掲げていた事

はまさに時代をしっかりと見据えていた施設と言えましょう。

今回は特にその中の、在宅復帰・支援機能が強調されています。今までもよりも具体的に細かく指標が設定され、ポイントによる評価となりました。予想通りの箇所もあれば、正直なところ意外に思った箇所(看取りの評価項目は無く、経管栄養や喀痰吸引の実施割合がある点等々)もありましたが、皆様の施設では如何でしたでしょうか。

他にも、医療介護連携、ポリファーマシー、通所リハビリの機能強化など多様な点が評価対象になり、改めて全職員で気を引き締めた次第です。つまるところ、漫然としたサービス提供ではなく、付加価値のある高機能のサービス提供を利用者、ご家族、地域に向けて心がけていかねば老健施設の存在意義が問われることとなります。



より広い視野に立てば、以上の仕組みは「人生100年時代」として当然かもしれませぬ。家族や社会のあり方が急激に変化している現代に於いて、絵に描いた餅でさえもはや存在せず、現実をしっかりと見つめた人生設計を立てる必要があります。幸い老健にはプロの他職種がありますので、在宅支援という軸をブレさせることなく、利用者やご家族に対する様々な支援ができるのではと考えます。

これからも地域包括ケアシステムの中核を担う施設の一つとして、更には日本の超高齢化社会を生き抜く大切なキーステーションの施設として、皆様と協力して老健施設は誠実に進んで参りたいと思います。

目次

一般社団法人熊本県老人保健施設協会組織図・目次 .....2

平成30年 人生100年時代を迎えて 理事 田中素美 .....3

熊本県老人保健施設大会 開催.....4~5

「地域包括ケア時代における介護保険3施設の姿」開催.....6~8

「中堅・主任者職員研修会」実施.....9

熊本県老人保健施設協会会員施設 .....10~11

施設紹介 .....12~15

皆様からの投稿写真集 .....15

原稿募集・編集後記 .....16

# 平成二十九年度 熊本県老人保健施設大会 開催

～素晴らしい内容の発表多数～



発表の様子

平成30年3月8日グランメッセ熊本にて、県下各施設より178名の参加のもと開催されました。  
山田和彦会長の開会挨拶に続き、熊本県老人保健施設協会会長表彰7名への授与式が行われました。  
今大会内においては、26のグループが4つのセッションに分かれて発表が行われました。各グループ、それぞれの職場での取り組みや体験、そこから感じたことや今後の課題等、様々な観点から発表が行われ、発表後の質疑応答においても感想や意見の交換が活発に行われました。  
特別講演では、平成30年度の画期的な介護報酬改定で、国との交渉に直接関わられた、全国老人保健施設協会の平川博之副会長より「平成30年度介護報酬改定について」と題した講演をいただきました。講演では、細かなデータを基に介護事業経営の実態を洗い出したうえで、国に対しての要望や、介護老人保健施設、ショートステイ、通所リハ、訪問リハ、それぞれの改定内容の説明



熊本県老人保健施設協会 平成29年度 会長表彰受賞者

No	施設名	設置主体	職名	氏名
1	樹心台	医療法人 信和会	施設長	衛藤 光明
2	青翔苑	医療法人 金澤会	支援相談員	清田 正臣
3	孔子の里	医療法人 孔子会	介護主任	関坂 順子
4			介護主任	佐々木 千恵美
5			事務職員	宮本 ユカリ
6	やすらぎ苑	水俣市芦北郡医師会	事務職員	鶴川 直美
7			介護福祉士	櫻井 美樹

があり、今後の施設の在り方についての提言もあり貴重なお話をいただきました。また、この度のプラス改定に当たっては、全国老人保健施設連盟による働きかけの力が大きく影響したこともあり、老健連盟会員数の増加の重要性を話されました。

市民講座講師には、長崎県諫早市の介護療養型老人保健施設恵愛荘・谷川敦弘事務局長様より「期待される施設運営」加算取得のための知恵」と題した講演が行われました。在宅復帰という視点はあまり深く持っていなかった自施設において、在宅復帰の強化を目的としたリハやケアの充実を図り、それに向けた取り組みを紹介していただきました。また、ケアとサービスの違いへの理解と意識改革や、施設内における人材育成



諫早市 恵愛荘 事務長 谷川敦弘様の講演

業務効率向上の取り組み等の事例を紹介していただきました。また市民講座の中では、座長の介護老人保



平川副会長による講演の様子

大会の最後には、各グループの素晴らしい内容の発表が行われた演題の中から、各セッション毎に優秀演題が表彰されました。各施設からの多数参加に感謝し、本大会を終了しました。



優秀演題表彰の様子

## 優秀演題

### 【セッション1】

非装着型睡眠計(眠りSCAN)を用いた睡眠の質の向上に向けた取り組み  
清雅苑 理学療法士 田中 秋成 様

高齢者の睡眠障害はよく見られ、不眠や昼夜逆転は本人だけでなく介護者にも負担になる。眠りSCANを導入して睡眠評価を行い、症状回復に繋がったことが評価できる。また、退所時には各所との連携を行い入所者の生活向上維持を行っている。

### 【セッション2】

趣味のパチンコを維持するためにシーティング介入を行った症例  
八祥苑 作業療法士 矢野 賞太 様

利用者のニーズに対応するため姿勢を強化し、少しでも科学的アプローチを試みた。利用者と職員のモチベーションを向上する相互でWIN WINの関係を作り上げることは、医療と介護の意識の連携向上にもつながると考えられる。

### 【セッション3】

頭と体を同時に使う『ワイワイ体操』で認知症を予防しよう  
なでしこ 作業療法士 田代 恵里加 様

今後改善していくことで、いろいろなステージの利用者に対応できると感じた。今からもっとも大事なことのひとつとして、介護を受ける人を減らすことと思う。そのためにも有効な手段と感じた。更に「ワイワイ体操」を継続してほしい。

### 【セッション4】

リハビリテーションマネジメント実態調査から見えてきた通所リハのリハビリ専門職に求められる役割  
ライフライン矢部 理学療法士 桑野 美香 様

4月の介護報酬改定の大きな柱である通所リハの問題提起であり、よくまとまっていた。次はこの課題で受けた次の経過発表に期待している。

# 「地域包括ケア時代における介護保険3施設の姿」開催

平成29年12月23日(土)熊本県医師会館2階 大ホールにおいてシンポジウムを開催しました。本来は9月17日開催予定でしたが、台風の影響で延期開催になりました。今回はそのシンポジウム及びディスカッションの中から3名のシンポジストの講演をご紹介します。

## 【鈴木】

地域医療構想と中小病院、有床診療所の役割について、2025年の超高齢社会に突入する年を乗り切る体制を構築するというところで、現在、改革が進められています。

大きな柱は3つで、地域医療構想で地域包括ケアシステムともつづいて、医師会での生涯現役社会の構築ということと、健康寿命の延伸を考えると、医療介護保険等を合わせた取り組みが必要です。

地域医療構想も進んでおり、2025年を目指して30年度は診療報酬介護報酬の同時改定だけではなく、第7期医療計画あるいは第7次の介護保険事業計画がスタートするということ、非常に大きな節目の年というふうにもいわれています。医療機関の場合は、自院の機能を見直すということが求められており、非常に先生方も苦労苦心されています。

2025年に向けた行程表は「応答」

われの分野は資格が一緒だったら男女平等で女性が働きやすい職場です。まず率先して、仕事と子育てを両立させていただき、子育てしやすい環境を活用して、医療介護の担い手だけではなく、子育てと仕事の両立を通じて、少子化対策にも貢献できますよということを示せば、もっと診療報酬、介護報酬とか、期待できるのではないかと考えております。

## 【瀬戸】

特養は介護保険施設と言われると共に、老人福祉施設でもあります。大きな特徴として、従来型と言われている多居室とそれからユニット型と言われているこの2つがいわゆる老人福祉施設としての役割を持っているというのが、大きく分かれています。

全老健では、軽費老人ホーム、ケアハウス、軽費老人ホームとか養護老人ホーム、この辺りが同じ居住的な施設としてサービスをしていますが、数も増えないし件数も増えていません。特に養護の場合には、いわゆる措置施設なので、行政が措置をしなければ入居できないというところで、措置すると措置費がかなり措置控えがあるという大きな問題があって、非常に大事な役割を持っていますが、なかなか増加しないし、むしろ減少傾向にあるというふうな現状になっています。

今後の医療ニーズ対応をいっそう進めていくために、早朝、夜間、または深夜に施設を訪

おり、介護医療院、介護保険施設、在宅医療、外来と役割はそれぞれ年度ごとに割り振って、さらに地域では市町村ごとに協議の場をつくり、医療と介護の摺り合わせし計画を立てるようになっていきます。そんな中で、地域密着型の中小病院、有床診療所でも診療報酬を評価していただきたいということ要望しています。この地域密着型中小病院有床診療所というのは、外来はかかりつけ医の診療所の機能を持っていて、入院機能があって、在宅支援を行い大病院との連携だけではなく、行政介護との連携、あるいは介護との連携も行っています。そして、診療所の在宅支援を行うという、医師会が地域に人材を派遣していくということも大きな役割になると思っています。地域にマンパワーを提供していくというのが大きな役目であり、まちづくりも中心となってやっもらいたいと考えています。

私達は地域包括ケアシステムの推進体制ということで、行政には、地域包括支援セン

問し入所者の治療を行った場合は配置医師を評価するということになっていきます。基準は、入所者に対する緊急時の注意事項や病状等についての情報の共有方法および、曜日や時間帯ごとの医師との連絡方法。または、診療を依頼するタイミングについて、医師として、具体的な取り組みがされていること。それから、複数の配置医師を置いているか、または配置医師と協力病院の医師が連携し、施設の求めに応じ24時間対応できる体制を確保していること。そこに配置医師に対しての加算を付けること、評価をすることです。

それから、これは施設側では利用者の病状急変に備えるための配置医師による対応や対応方法を定めることを義務付けられ、運営指導に来られるとそこをチェックされます。施設の加算では夜間の医療措置に対応できるように、夜間配置職員加算だったり、看取り加算、個別機能訓練加算ができます。あと、障害者の受け入れに関して、小規模についても評価



ター、地域協会であり、医師会、かかりつけ医には在宅医療連携ごとに、共に多職種連携のまとめ役になっていただき、小さな医師会には、都道府県医師会が協力して支援する。あるいは、大きな医師会周辺の小さな医師会は、大きな医師会が支援する支援型。こういう形で、それぞれの地域性に応じた形で地域包括ケアシステムを構築していただきたいと考えております。



ぜひ少子化対策で、医療機関、介護施設における地域活性化モデルということで、われ

も必要です。他にも、具体的に褥瘡管理をするとか加算ができます。それから、排泄にかかると機能向上ということ、排泄に関しての要因と分析と支援計画、いわゆるケアプランにその計画を書いて実施すると、一定期間高い評価をすることになっています。

それから、閣議決定された未来投資戦略の中に、科学的介護とということが書かれており、自立支援を促進する科学的介護を、しっかりとやっというんだという政府の方針としても出されてきていますので、これに対して、われわれも心えいかねばなりません。

本人がどんな望む生活をしたのか。看取り期であっても、最期、しっかりとその人らしく生きることができると、伴走型介護で、これこそが自立支援で実はずっと特養ではやってきたことです。今、そこがかわれわれがやってきた自立支援なんじゃないかということ、今後データ数を持ちながら、各事例の中で今調査をし、しっかりと自立支援に向けたトレーニングを進めています。

## 【東】

近年全老健、老協協を中心として、介護関連団体でちゃんと足並みを揃え今後は、医療と介護というものの連携が不可欠で医師会、医療関係団体とも、この介護団体がきちんと連携をしていくというのが重要になるかなと思います。

今回老健はこの6月に介護保険法で定義



## シンポジスト

日本医師会常任理事 鈴木 邦彦  
 全国老人福祉施設協議会理事・統括幹事 瀬戸 雅嗣  
 全国老人保健施設協会会長 東 憲太郎

# 「中堅・主任者職員研修会」実施

平成29年8月23・24日の2日間にわたり、中堅・主任者を対象に研修会が実施されました。日頃現場での繁忙の中、研修会にはたくさんの方々に参加頂き充実した研修会になりました。

2日間で5つの講義とコーチングによる、利用者様や職場での人との接し方など実践を体験しながら学びました。またグループワークでは、他施設の職員との交流で悩みや解決事例等活発な意見がでました。2日間と長時間ではありましたが意義ある内容で、今後の活躍を大いに期待できる研修会になりました。



付けが改めてあり、在宅支援ということが大きく、その上位概念が法律で決まりました。大変私も老健施設においては大きい法律改正だと思っています。

まさに今日の『地域包括ケア時代における介護保険3施設の姿』は老健、介護医療院、特養というふうに横並びにする、特養は生活施設、それから介護医療院は長期療養生活施設。老健は、在宅支援在宅復帰施設ではなく、この機能分化がされており、この介護3施設で機能が違い、その機能をお互いが発揮していくということが、これからは求められると思います。今回老健においては、特に法律でこの在宅支援というものが定義付けられた事で、今後もっと厳しく対応が問われることになると思います。

今回の改は給付費分科会のもので、一定の在宅復帰、在宅支援機能を有するものを基本型としたメリハリを付けた評価です。これは予

想ですがおそらく、基本型ができたらその上に強化型というのができて、さらにもう少し頑張っているところは、仮ですが超強化型など強化型の中でも、よりまた強化されるところが出てくるのだからと協会でも考えています。

では基本にならない老健では、今後は入所前後訪問指導をどれだけやっているか、退所時の指導をどれだけやっているか、リハ職の配置や支援相談員の数、居宅サービス、訪問リハやショートをやっていますか等複数のものを点数化していくようになるかと考えています。また、地域貢献活動は何らかの評価に入ってくると思います。他には多職種で共同してケアをリハビリの概念をもっと提供する、チームアプローチリハビリも基本方針に入っており、それがきちんとなされているか前提条件として老健に入ってくる可能性があまり。総合的に老健の機能というものが評価され、その点数は今後の課題になります。

これからは、きちんと周りの診療所の先生、医療機関の先生方、かかりつけ医との連携というのが非常に重要になってきます。その象徴がいわゆるポリファーマシーで、今診療報酬の中にもポリファーマシーのことが点数でも入っており老健でも、このポリファーマシーのことをわかりつけ医との連携できちんとやった上で、これが認められることになりまし

た。それから、かかりつけ医との連携も大きく影響します。

それから、老健で行われる医療に関しても、同時改定できちんとした診断プロセスに手間がかかっている場合は、ちゃんと介護報酬で見られるようになります。

もう一つ大きな改定では、1週間以内の短期入院の場合は、在宅復帰の計算式の分母に入れなくていいということになりました。排泄や褥瘡等も今回評価がされたのは、大変大きいと思います。

通所リハ事業所でも、リハ職の配置が手厚いところは上乗せ加算があり、V-SITを乗せるとより今よりも高い点数が取れるというふうに想定をされているようです。

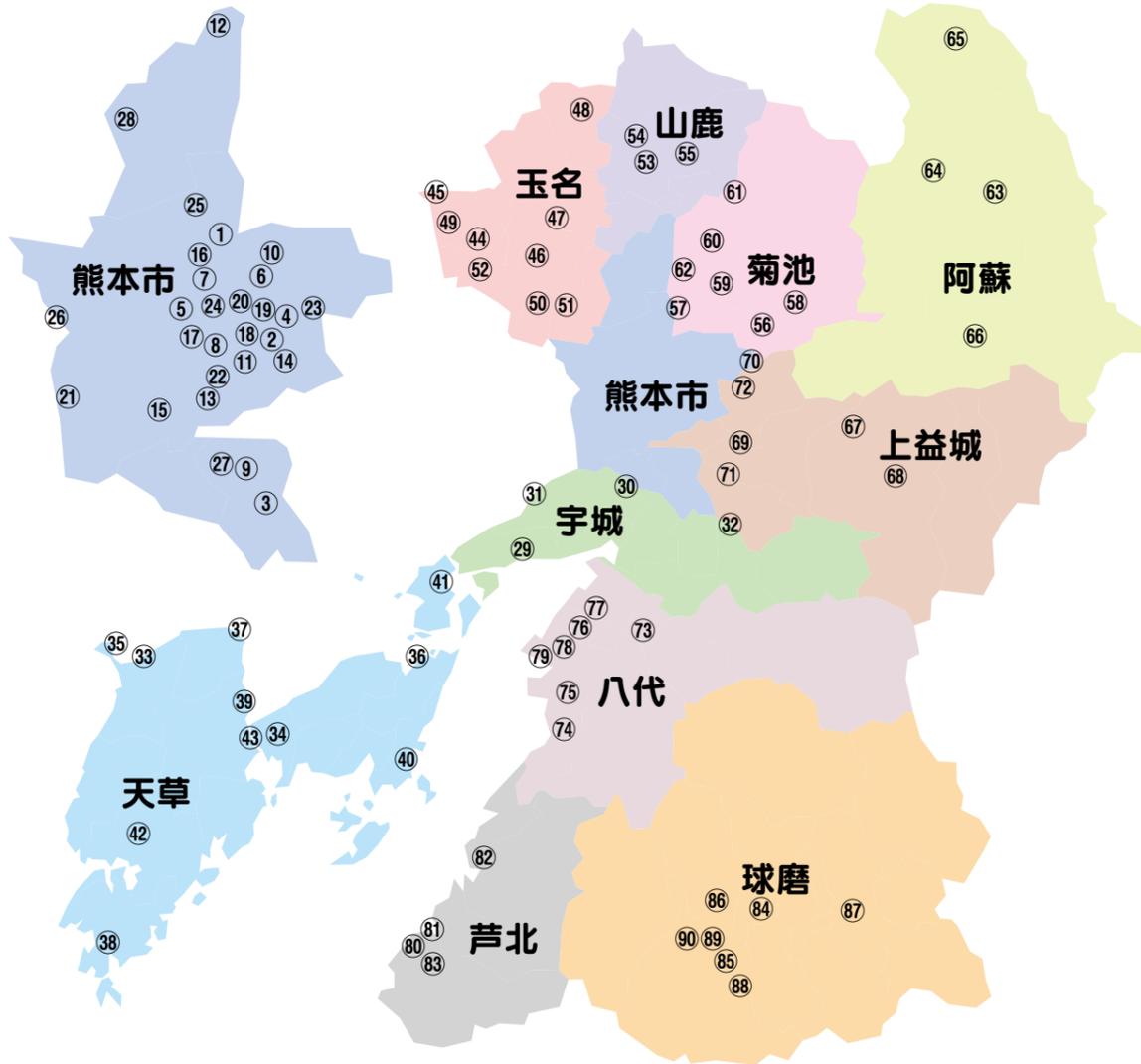
それから、通所リハ通所介護も、緒で面談等が2時間単位が1時間刻みというふうになりました。栄養のスクリーニングが通所でも用いられることになりスクリーニングするごとに加算が付きまます。それから訪問リハビリも今回も同時改定があり現場にとっては大変大きなものになっています。例外規定も設けられました。

私は老健の担う役割4つを挙げています。一つがリハビリの充実、二つ目が認知症への対応、三つめはケアの質、最後に科学的な介護。この4つが、今後老健が生きていく上で、大変重要になるといふふうに思います。



ディスカッションの様子

熊本県老人保健施設協会会員施設



- ①清雅苑 熊本市北区山室6丁目8-1 096-345-8112
- ②コスモピア熊本 熊本市東区尾ノ上1丁目3-12 096-384-8088
- ③桔梗苑 熊本市南区城南町沈目1481 0964-28-6811
- ④レ・ハビリス桜十字熊本東 熊本市東区三郎1丁目12-30 096-385-6262
- ⑤青翔苑 熊本市西区島崎2丁目21-10 096-359-5377
- ⑥阿房宮 熊本市北区龍田陳内1-3-20 096-337-1111
- ⑦杏の里 熊本市西区池田1丁目14-78 096-351-2788
- ⑧南楓苑 熊本市中央区南熊本2丁目11-1 096-371-5111
- ⑨光乃里 熊本市南区城南町今吉野972 0964-28-8000
- ⑩ぎんなんの里 熊本市北区楡木1丁目3-70 096-337-2700
- ⑪湧心苑 熊本市中央区出水4丁目15-30 096-371-4165
- ⑫ケアビレッジ箱根崎 熊本市北区植木町正清888 096-274-7700
- ⑬ぼたん園 熊本市南区御幸笛田6丁目8-1 096-370-1222
- ⑭第二コスモピア熊本 熊本市東区尾ノ上1丁目8-8 096-360-3111
- ⑮白藤苑 熊本市南区白藤5-1-1 096-358-7200
- ⑯みつぐ苑 熊本市北区貢町135 096-323-6123
- ⑰のぞみ 熊本市中央区本荘3丁目7-18 096-371-3399
- ⑱シルバーピア水前寺 熊本市中央区水前寺5丁目2-22 096-384-3399
- ⑲メディエイト鶴翔苑 熊本市東区保田窪本町10-112 096-387-8181
- ⑳フォレスト熊本 熊本市中央区渡鹿5丁目1-37 096-363-0101
- ㉑なすび園 熊本市西区沖新町3353 096-329-5666
- ㉒田迎ケアセンター 熊本市南区出仲間5丁目2-2 096-378-2223
- ㉓ケアセンター赤とんぼ 熊本市東区戸島西2丁目3番10号 096-331-3737
- ㉔なでしこ 熊本市中央区北千反畑町2-5 096-343-7450
- ㉕かなこぎ苑 熊本市北区硯川町768-1 096-275-2788
- ㉖葵の森 熊本市西区松尾町近津1480番地 096-311-4004
- ㉗ゆずりは 熊本市南区城南町高1099 0964-28-6311
- ㉘ひらた苑 熊本市北区植木町平原212 096-272-5486

- ㉙青海苑 宇城市三角町郡浦739-8 0964-54-1311
- ③⑩あさひコート 宇土市旭町106番地 0964-23-5211
- ③⑪景雅苑 宇土市上綱田町3676 0964-27-17086
- ③⑫なごみの里 下益城郡美里町堅志田192-1 0964-47-6011

- ③⑬慈恵苑 天草郡苓北町上津深江278-10 0969-37-1567
- ③⑭本渡ケア・ホーム 天草市下浦町2090-1 0969-24-3331
- ③⑮臥龍園 天草郡苓北町富岡3273番地2 0969-35-1530
- ③⑯松朗園 上天草市松島町今泉32-1 0969-56-3111
- ③⑰ブルーマリン天草 天草市五和町御領9133 0969-32-2112
- ③⑱ケアセンター鶴丸 天草市久玉町62-1 0969-72-6072
- ③⑲天草中央総合病院附属 天草市東町101 0969-22-2111
- ④⑰きららの里 上天草市龍ヶ岳町高戸1419-19 0969-62-1123
- ④⑱ほんごう苑 上天草市大矢野町登立8607 0964-56-5110
- ④⑲ケーナ・ガーデン 天草市河浦町河浦4778-3 0969-76-1808
- ④⑳夢織りの里天草 天草市楠浦町字掛場59番5 0969-22-8288

- ④①聖ルカ苑 玉名郡長洲町宮野2772-10 0968-78-5521
- ④②慈眼苑 荒尾市増永708-2 0968-64-1018
- ④③樹心台 玉名市伊倉北方272 0968-73-4165
- ④④ゆうきの里 玉名市上小田1063 0968-74-0666

- ④⑤清風苑 玉名郡和水町上板楠1697-1 0968-34-3700
- ④⑥平成ドリーム館 荒尾市水野1556 0968-68-7770
- ④⑦星雲荘 玉名市横島町横島3384 0968-84-3717
- ④⑧てんすい倶楽部 玉名市天水町部田見1214-15 0968-71-5600
- ④⑨幸 玉名市岱明町鍋1831 0968-57-5105

- ④⑩希望の園 山鹿市山鹿369 0968-44-2100
- ④⑪山鹿リハビリセンター 山鹿市熊入町313 0968-43-4370
- ④⑫太陽 山鹿市鹿本町津袋654-1 0968-46-6111

- ④⑬サンライズヒル 菊池郡菊陽町曲手760 096-232-5656
- ④⑭桜の里 合志市須屋702 096-343-8377
- ④⑮おおつかの郷 菊池郡大津町陣内1165 096-294-1500
- ④⑯ひらせ記念リハビリ苑 合志市福原3111 096-248-7100
- ④⑰孔子の里 菊池市泗水町福本904-1 0968-38-5666
- ④⑱リハビリセンターきくちの里 菊池市大琳寺123 0968-23-7721
- ④⑲有隣 合志市野々島字東原4414-17 096-242-5050

- ④⑳阿蘇グリーンヒル 阿蘇市一の宮町宮地121 0967-22-0500
- ④㉑愛・ライフ内牧 阿蘇市内牧1105-1 0967-32-5511
- ④㉒おぐに老人保健施設 阿蘇郡小国町大字宮原1742-1 0967-46-6111
- ④㉓リハセンターひばり 阿蘇郡南阿蘇村大字吉田2044-2 0967-64-8000

- ④㉔彩雲苑 上益城郡山都町北中島2701 0967-75-0222
- ④㉕ライフライト矢部 上益城郡山都町下市60 0967-72-1110
- ④㉖御船清流園 上益城郡御船町御船1062-1 096-282-1616
- ④㉗平成唯仁館 上益城郡益城町宮園字三の迫1139-1 096-286-0666
- ④㉘ナーシングケア緑風苑 上益城郡甲佐町白旗271 096-234-3788
- ④㉙ケアポート益城 上益城郡益城町安永1030 096-289-0777

- ④㉚八祥苑 八代市氷川町早尾1097 0965-62-4818
- ④㉛ハピネスケア日南 八代市日奈久塩北町2922 0965-38-0700
- ④㉜向春苑 八代市大福寺町2411-1 0965-33-8660
- ④㉝アメニティゆうりん 八代市古閑浜町西塩浜3401 0965-33-8880
- ④㉞かがみ苑 八代市鏡町塩浜235 0965-30-4000
- ④㉟皇寿園 八代市高島町4218 0965-33-5545
- ④㊱とまと 八代市郡築1番町180-1 0965-37-3737

- ④㊲やすらぎ苑 水俣市浜4051 0966-63-8621
- ④㊳白梅の里 水俣市浜4098-18 0966-63-3888
- ④㊴新清苑 芦北郡芦北町大字芦北字塩屋田尻2727-1 0966-61-3055
- ④㊵淵上 水俣市塩浜2番19号 0966-63-6551

- ④㊶サンライフみのり 球磨郡相良村大字川辺1778 0966-35-0840
- ④㊷リバーサイド御薬園 人吉市七地町495 0966-22-6811
- ④㊸山江老人保健施設 球磨郡山江村大字山田字南永シ切1705 0966-24-9800
- ④㊹シルバーエイト 球磨郡多良木町大字多良木4210 0966-42-5288
- ④㊺タンポポ 人吉市下漆田町字後平1538 0966-25-1551
- ④㊻愛生 人吉市南泉田町89 0966-28-3586
- ④㊼もみの木 人吉市下林町232 0966-22-0200

●は平成30年度ブロック代表者施設です。

## 熊本市ブロック 21 なすび園

熊本市西区沖新町3353番地  
TEL 096-329-5666 FAX 096-329-5200  
入所定員：70名 通所定員：60名

当施設は熊本市西区に位置する沖新町に、独立型の介護老人保健施設として、開設し今年で二十年目を迎えます。運営母体は同じく西区春日のアラキ整形外科です。施設の近くには熊本港、対岸には雲仙岳が一望できる自然豊かな環境の中で、ご利用様が快適に過ごしていただけるよう、中庭を広く、明るい陽射しと十分な換気を取り入れるよう設計した二階建ての施設です。

基本理念としましては、①個人個人を尊重し、ゆったり、優しく、丁寧に個別的な対応を行います。②ご利用者の方が、在宅復帰を目指すための在宅介護を中心とした、看護介護、リハビリテーション等、総合的なサービスを提供いたします。③地域や家庭との結びつきを重視した、地域に開放された施設を目指します。この基本理念の達成のため日々努めてまいります。これからもご利用者、そのご家族、そして地域の皆様笑顔で過ごせるように、貢献してまいります。



## 山鹿ブロック 55 太陽

熊本県山鹿市鹿本町津袋654-1  
TEL 0968-46-6111 FAX 0968-46-6060  
入所定員：96名 通所定員：40名



当施設は、県北部に位置し周辺には一本松公園や不動岩があり、遠く阿蘇外輪山、金峰山を望む景観の素晴らしい、緑豊かで閑静な環境のなかにあります。

医療法人回生会が平成9年に開設し、一般棟48床と認知症専門棟48床で構成されています。同法人の山鹿回生病院は、地域拠点型認知症疾患医療センターを担っており、当施設も認知症短期集中リハビリテーションの実施や認知症ケア専門士の配置を行い、同病院や地域の他施設と連携を図りながら認知症ケアに力を入れています。

また、地域密着リハビリテーションセンターの指定を受け、訪問リハビリや近隣のサロン活動に出向きリハビリ体操等で地域住民の方の介護予防や健康増進の一端を担えるよう活動しているところです。

太陽は、地域の人々の為に開かれた施設として、適正な医学・看護・介護の許で自立支援、通過機能、QOL向上のため包括医療サービスを厳しい科学性と優しい心を持って努力していきます。



## 阿蘇ブロック 65 おぐに老人保健施設

阿蘇郡小国町大字宮原1742-1  
TEL 0967-46-6111 FAX 0967-46-6052  
入所定員：50名 通所定員：30名



当施設は、平成11年、県北に位置する小国町に介護老人保健施設として開設しました。南小国町、小国町の2ヶ町、いわゆる『小国郷』には黒川温泉や杖立温泉をはじめ多数の温泉地があり温泉郷でもあります。小国中学校の校歌に「鉾杉かすむ湧いた山…」とあり鉾杉=小国杉が産物です。

当施設は地産である小国杉材を使用した木造建築で、他の施設には見られない特徴があります。木の温もりや落ち着いた雰囲気と独特の安らぎ感は、地

元の高齢者にマッチしているように感じます。併設病院で自治体病院である小国公立病院を母体とし、当施設及びおぐに訪問看護ステーションによる24時間対応等、利用者様の在宅復帰及び在宅復帰後の生活支援に全力で取り組んでいます。

現状としては、高齢化に伴い認知症高齢者の増加や医療依存度が高くなり特養化しつつある昨今、高齢者医療に対応できる施設である様努めて参ります。安心して慣れ親しんだ地域で生涯を終えられる様に、又地域の方々に信頼され期待される施設を目指しています。



## 八代ブロック 77 かがみ苑

熊本県八代市鏡町塩浜235  
TEL 0965-30-4000 FAX 0965-30-4001  
入所定員：80名 通所定員：50名

介護老人保健施設かがみ苑は、八代市鏡町にあります。母体である医療法人司会の松本病院は当地で70年近い歴史を持ち、初代理事長が家族的な地域医療を行ってきた中で、来るべき高齢化を見据えて施設を設立しました。以来20年「高齢者の自立支援を基本に、高齢者を取り巻く家族・地域の包括的な支援・ケアに誠心誠意取り組み、その中核的な役割を担う」ことを基本理念に、より良い施設とするべく、日々努力を重ねております。



アートポリス賞を受賞した建物の屋内は、外観の印象とは違って、採光が取り込まれる明るさのあふれる空間が広がっています。さらにスタッフの笑顔と挨拶が明るく爽やかであるとの来訪者の評価をいただくことが多いのは、スタッフのケアに対する意識の高さの反映でもあると自負しております。

今後も開設以来の方針通り、高齢者ご本人だけでなく、家族や地域の皆様に信頼してご利用いただけるような施設であり続けることができるよう取り組んでまいります。

### 球磨ブロック 90 もみの木

熊本県人吉市下林町232  
TEL 0966-22-0200 FAX 0966-22-0203  
入所定員：29名 通所定員：0名



老健の役割である自立した生活を目標に、医師・理学療法士・言語聴覚士・管理栄養士等の各種専門職との連携を行いながら、病院の併設施設として、医療依存度の高い方の入所を受け入れ、看取りケアなど御本人、御家族それぞれの希望に応じて柔軟なケアを提供しています。

地域包括ケア推進のため、その一端を担う施設として、地域社会に貢献していきたいと考えています。

介護老人保健施設「もみの木」(入所定員29名)は、平成27年1月に堤病院併設として開設しました。

当施設は、全室個室・ユニットケアの特徴を活かし、ユニットごとに生活リハビリを兼ねた餃子作りやうちわ作りなどを開催しており、入所者様の「生活の質の向上」を目指して、安心安全な生活と家庭的な環境を提供できるよう職員全員努力しています。

また、季節ごとに夏祭りやクリスマス会、敬老会といったイベントを開催し、御家族と一緒に有意義な時間を過ごしていただけるような取組みも行っていきます。



### 天草ブロック 43 夢織りの里天草

熊本県天草市楠浦町字掛場59番5  
TEL 0969-22-8288 FAX 0969-22-8188  
入所定員：50名 通所定員：30名



医療法人薫風会 介護老人保健施設夢織りの里天草は、天草市楠浦町に平成21年4月に、家庭的な雰囲気が特色のユニット型(全室個室)の老人保健施設としてオープンし、今年9年を迎えます。施設は海に近く、オーシャンビューの2階屋上庭園には四季折々の花が植えられ、季節の移ろいを肌で感じて頂けます。

私共は、皆様が夢を持ち、明るく、楽しく、そして生き生きと療養生活を送って頂くために、地元的新鲜な食材を使った手作り料理を提供し、音楽療法や季節行事などを行い、利用者様に十分配慮した環境・施設作りを心掛けております。また、医療機関、福祉関係機関と連携をとり、利用者様一人一人を尊重した「個別ケア」を提供しながら在宅復帰に向け取り組んでおります。その他に、夏祭りの開催、新聞の発行、ボランティアの受け入れなど地域に開かれた施設としての役割を果たすべく、これからも、御家族や地域の方々との交流を深め、地域に愛され、必要とされる施設を目指し職員一同頑張っております。



## 投稿写真

会員の方(匿名)が  
日本一周された際の写真です

北海道：宗谷岬 日本最北端の地

網走刑務所

知床峠より羅臼岳を眺る

青森県：龍飛崎 津軽海峡冬景色

室蘭：地球岬

風極の地 襟裳岬突端から

秋田県：男鹿半島 入道崎

北海道：納沙布岬 本土最東端

兵庫縣：竹田城跡 (天空の城)

新潟県：佐渡七浦海岸

鳥取県：鳥取砂丘

岩手県：奇跡の一本松

山梨県側から 富士山を見る

山口県：角島

兵庫縣：宝塚劇場

和歌山県：吉野熊野国定公園

兵庫縣：姫路城 (白鷺城)

東京都：八丈島 登龍展望台より底土港を眺る

皆様からの投稿写真、  
いろんな情報など  
募集しています。

### 熊本市ブロック 22 田迎ケアセンター

熊本市南区出仲間5丁目2番2号  
TEL 096-378-2223 FAX 096-378-6893  
入所定員：50名 通所定員：60名

当施設は平成11年3月に、熊本市出仲間で東病院併設として開設されました。昔、建物の上に飛行機が乗っている病院として、ご存知の方もいらっしゃるかと思います。

現在は、入所50床、通所リハビリテーション60名、その他に居宅介護支援事業所も併設しております。

- 当施設の特徴としては、
- ①救急指定の病院併設で、何かあった際の医療のバックアップ体制が充実している事。
  - ②地域との繋がりが強い事。



が挙げられます。  
①に関しては、病院と建物が繋がっておりますので、見学の際に、びっくりされる事もあります。  
②に関しては、地域の方の健康、医療、介護を総合的にサポートさせて頂いております。  
スタッフは各専門職が在籍していますが、何か行う際の協力体制は他の施設に引けを取らないと自負しております。  
今後、地域包括ケアシステムの構築に向けて、地域の中核施設として、温かい心と専門的な技術で職員一同取り組んでいきたいと考えております。

## 原稿募集

「ろうけん熊本」では紙面の充実の為、老健施設職員の皆様からの様々な情報、写真等を随時募集しております。

応募してもいいと思われる方は、このページを切り取るか、コピーなどで送信ください。簡単な内容をお知らせください。後日、広報委員からご連絡申し上げます。

### FAX送信票

<送信先> FAX 0966-26-3680 熊本県老人保健施設協会 事務局 広報委員 行

- |  |                                       |
|--|---------------------------------------|
| <input type="checkbox"/> ペット自慢 ( )     | <input type="checkbox"/> うちのイケメン職員紹介  |
| <input type="checkbox"/> 施設の活動について     | <input type="checkbox"/> 施設の人気の料理メニュー |
| <input type="checkbox"/> 行事の記事や写真      | <input type="checkbox"/> レクリエーション紹介   |
| <input type="checkbox"/> 研修の感想         | <input type="checkbox"/> 旅行記          |
| <input type="checkbox"/> うちの地域の自慢や祭り紹介 |                                       |
| <input type="checkbox"/> その他 ( )       |                                       |

-----  
-----  
-----  
-----  
-----  
-----  
-----  
-----

[施設名]

[お名前]

[ご連絡先] TEL

FAX

メールアドレス

※申し込み多数の場合は、ご連絡が遅くなる場合がございますのでご了承ください。

## 編集後記

介護報酬改定を伴う慌ただしい新年度がスタート致しました。施設の体制作りへのご尽力、新入社員の人材育成など各施設創意工夫の下でご苦労が絶えないことと思います。

我々の仕事はご利用者・職員等、人と人の仕事で有るが故にストレスを多く抱えますが、皆さん息抜きは出来ていますか?最近歳を重ねる毎に、ご利用者のかかわりの中で老いいる自分の姿を想像することがよくあります。やはり、心身健康でいる為にストレス発散できる趣味を持つことが大事だなあ、と思います。皆様も息抜きできる時間を確保しつつ、お仕事がんばりましょう。ファイト・イッパツ!!

青海苑 後藤

広報委員 土肥 英樹(サンライフみのり) 岩尾 英憲(山鹿リハビリセンター)  
後藤 健(青海苑)

印刷:シモダ印刷株式会社